

令和6年度第3回四街道市みんなで地域づくり推進委員会 会議録（概要）

日時：令和7年2月17日(月) 午後1時30分～午後3時40分

場所：四街道市文化センター301号室

出席者(委員)：大下委員長、日野副委員長、福本委員、栗山委員、野口委員

出席者(事務局)：岩井みんなで課長、森田課長補佐、櫻井主任主事

欠席者：田中委員

傍聴人：18名

―― 会議次第 ――

1.開会

2.委員長あいさつ

3.会議の公開・非公開

4.議題

- (1) 令和7年度みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）提案事業の公開プレゼンテーションについて
- (2) 提案事業の審査について
- (3) その他

5.閉会

―― 会議の内容 ――

1. 開会

（事務局：岩井課長）

定刻になりましたので、ただ今から、令和6年度第3回四街道市みんなで地域づくり推進委員会を開催いたします。

本日は委員6名のうち5名にご出席をいただいておりますので、四街道市みんなで地域づくり推進委員会要綱第7条第2項に規定する過半数に達しておりますので、本日の会議は成立していますことをご報告させていただきます。

なお、本日は淑徳大学の学生がオブザーバーとして1人参加しております。主にプレゼンテーションの進行補助をしていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは大下委員長よりご挨拶頂きまして、四街道市みんなで地域づくり推進委員会要綱第7条に基づき、会議の進行をお願いいたします。

2.委員長あいさつ

―― 委員長あいさつ ――

(大下委員長)

議事に先立ちまして、会議録の作成についてですが、「四街道市審議会の会議の公開に関する指針」により審議会は、会議録を作成することとなっております。なお、会議録における発言者名については、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、原則として明記することとなっておりますので、本委員会においても明記する取扱いとしたいと思いますが、委員の皆様のご意見をお伺いします。

(異議なし)

(大下委員長)

異議なしと認めます。本委員会における発言者名を明記する取扱いとします。会議録は事務局が作成することとし、出席委員を代表して私が内容確認をさせていただきたいと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

3.会議の公開・非公開

(大下委員長)

会議の公開・非公開につきましては、議題「(1) 令和7年度みんなで地域づくり事業提案制度提案事業の公開プレゼンテーションについて」につきましては、「四街道市審議会の会議の公開に関する指針」により、また、広く市民の方に見ていただくため、公開とさせていただきます。

議題「(2) 提案事業の審査について」につきましては、四街道市情報公開条例第8条第1項第5号に該当するため、非公開とさせていただきます。

また、会議資料につきましては、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、議事次第については、配布するものとされておりますが、その他の資料の配布については本委員会の判断によるものとされておりますので、例年通り、コラボ四街道提案事業一覧とプレゼンテーションタイムスケジュールを配布することとしてよろしいか、委員の皆様のご意見をお伺いします。

(異議なし)

異議なしと認めます。

次に、本日の進行について事務局から説明をお願いします。

(事務局：森田課長補佐)

それでは、本日の進行についてご説明いたします。

推進委員の皆様は、公開プレゼンテーションの内容を踏まえた上で、改めて評価票への記入をお願いします。

各団体につき、プレゼンテーション時間7分、質疑応答時間7分とします。それぞれ終了「3分前」、「1分前」、「終了」時にベルを鳴らしますので目安としてください。

すべての団体のプレゼンテーション終了後に評価票を回収いたします。

プレゼンテーションの終了は15時00分頃を予定しております。その後休憩を挟みまして、議題「(2)提案事業の審査」に移ります。

説明は以上となります。

(大下委員長)

何か質問はありますか。

(特になし)

(大下委員長)

なお、本日田中委員が欠席となっておりますので、事前にご提出いただいた評価票は、本審査に含まないこととしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

(大下委員長)

13時45分から議題の(1)みんなで地域づくり事業提案制度の公開プレゼンテーションを開始しますので、時間までに着席をお願いします。

——休憩——

4. 議題

(大下委員長)

ただ今から、令和7年度みんなで地域づくり事業提案制度プレゼンテーションを開始します。プレゼンテーションに入る前に事務局より注意事項があればお願いします。

(事務局：森田課長補佐)

会場内では携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモードに設定していただきますようお願いいたします。以上でございます。

—プレゼンテーション内容省略—

1. よつかいどうユニバーサル工業フェスタ実行委員会
2. 一般社団法人よつかいどう野外保育さとのたね
3. 紫陽花プロジェクト実行委員会
4. 四街道わくわくフェス実行委員会
5. 四街道みんなの教室

(以下質疑応答や意見等要旨)

1. よつかいどうユニバーサル工業フェスタ実行委員会

(日野副委員長)

農商工福の立場の方がそれぞれ実行委員会に参加することは可能でしょうか。

(団体)

「農」について、現在は参加いただく予定はありませんが、フェスタに出店いただいた方を巻き込んで実施できるよう検討していきます。

(日野副委員長)

巡回バスを検討されていますが、経費はどのように考えていますか。

(団体)

産業振興課と連携し、市に予算を取っていただきたいと考えています。また、将来的にはコミュニティバス等を出していただけるようなフェスタにしたいと考えています。

(福本委員)

2回目の事業として、課題に対して明確な目標を設定していただけると良いと思いました。

(団体)

来場者規模は1回目と同じと考えております。誘導等は地域のボランティアに協力していただき、駐車場は少し離れていますが、コメリにお借りすることができましたので、基本的には2回目も同じ内容で実施します。しかし、交通利便性の部分でご意見がありましたので、巡回バスを検討しているということです。

(福本委員)

1回目とは中心となって運営する方が変わったかと思しますので、十分注意しながら実施していただければと思います。

(団体)

2回目は引継ぎを受けながら手順書を作成し、運営できる体制を整えていきます。

(福本委員)

多様な主体を巻き込みながら実施していただければと思います。

2. 一般社団法人よつかいどう野外保育さとのたね

(栗山委員)

ごはんの会の食材はどのように用意する予定でしょうか。

(団体)

参加費を徴収する予定です。また、農家さんと連携することも検討しています。

(野口委員)

提案書の定款と名簿の関係がわかりづらいです。例えば提案書の中に実行委員会を設置する旨を記載するのが良いかと思います。

(団体)

ご指摘ありがとうございます。

(日野副委員長)

予算書の中で、対象経費と対象外経費に報償費が計上されていますが、どのようなすみ分けをされていますか。

(団体)

お呼びする講師の報償費が10万円かかります。コラボ四街道の報償費の上限が5万円となっているため、対象経費と対象外経費をわけて計上しています。

3. 紫陽花プロジェクト実行委員会

(野口委員)

会員制ではなく有償ボランティアとした理由はありますか。

コラボ四街道は3年までとなっておりますので、補助金終了後の事業継続についてはどのように考えていますか。

(団体)

会員制は検討いたしました。が、会員に参加を募っていくと実際のイメージがわからない状

況で参加していただくことになってしまいます。みそら自治会に相談したところ、広い方に関わっていただける有償ボランティアとしました。

3年目以降について、紫陽花は一度根をつかせると毎年花を咲かせます。したがって、1、2年目は苗等の費用が掛かってしまいますが、それ以降は発生しません。しかし、土や肥料等の消耗品費は掛かってしまいますので、イベントの実施やみそらまつりへの出店により収入を得ようと考えています。

(栗山委員)

みそらまつりへの出店はどのようなものを想定されていますか。

(団体)

紫陽花に関連し、紫色の飲み物や紫陽花のワークショップを出店する予定です。

(大下委員長)

紫陽花は咲き終わった後があまりキレイではないため、管理を十分に行っていただければと思います。管理は大変だと思いますので、有償ボランティアだけではなく、仲間を増やしていただければと思います。

4. 四街道わくわくフェス実行委員会

(日野副委員長)

1回目は来場者が5万人とのことでしたが、周知はどのようにしたのですか。

(団体)

代表番場の SNS 及び市内小中学校等にチラシを配布しました。

(日野副委員長)

5万人はすごい人数だと思いますが、入場制限はしなかったのですか。

(団体)

想定では1万3000人としていたが、予想より多くの方が来場されたため、入場制限をする余裕もなく対応に追われました。そのため入場制限をしていません。

(日野副委員長)

イベント運営において、リスクマネジメントを徹底していただければと思います。今回の提案では補助金の主な用途として警備員の増員としていますが、再度人員が十分に足りているのか、検討していただければと思います。

特にお菓子投げはケガする可能性が高いため、安心安全な運営に向けて精査していただければと思います。

(団体)

お菓子投げについて、今回は実施しない予定です。しかし、新たに宝探しの実施を検討しています。

(大下委員長)

「紫陽花プロジェクト実行委員会」と主要メンバーが同じですが、仮に2事業採択になった場合は実施可能でしょうか。

(団体)

問題なく運営できます。

(大下委員長)

昨年度は初めての開催だったので、来場者数の想定が難しかったと思いますが、今回は5万人規模のイベントということを踏まえた上で、安心安全な運営をしていただければと思います。その中で警備員の費用が高騰しており、アルバイトのみでの警備では不安が残ります。したがって、入場制限は有効な手段だと思いますが、いかがでしょうか。

(団体)

四街道警察や市と相談の上、安心安全な運営に向けて検討します。

5. 四街道みんなの教室

(福本委員)

市内全域に周知することを考えていただきたいと思います。広報はどのように実施されるのですか。

(団体)

自治会ごとに開催する予定ですので、回覧版にて広報することを考えています。

(福本委員)

自治会に未加入の方はどのように広報する予定ですか。

(団体)

自治会に未加入者を確認の上、個別にチラシをポスティングしたいと考えています。

(野口委員)

各自治会で開催すると思いますが、少人数で機材を運ぶのは大変だと思うが、運搬方法はどのように考えていますか。また、機材の保管場所の確保はしていますか。

将来的には仲間を増やす予定なのでしょうか。

(団体)

機材はメンバーの車にて運搬します。また、機材の保管場所は、私が勤務している生活支援事業をしている店舗兼倉庫に保管する予定です。

構成員はすでに声をかけ始めており、今後増やす予定です。

(大下委員長)

活動を継続していくためには、初年度は無理のない運営とし、2年度・3年度と段階的に事業を拡大することで教室の開催数を増やし、着実な運営を図っていただければと思います。

(大下委員長)

ありがとうございました。以上で、プレゼンテーションを終了します。事務局よりこの後のスケジュールの説明をお願いします。

(事務局：森田課長補佐)

皆様、お疲れ様でございました。この後、休憩をはさみまして議題「(2)提案事業の審査について」を行います。

審査の結果につきましては、市ホームページで公表いたします。なお、公表結果につきましては、「みんなで地域づくり推進委員会」の選考結果であり、この選考結果を踏まえたうえで、市において採択団体を決定いたします。

各団体の皆様には、後日事務局から採択・不採択の結果を文書にて通知いたします。

また、審査は非公開で行われるため、各団体の皆様とプレゼンテーションの傍聴の皆様につきましては、ここでご退席をお願いします。

委員の皆様は、15時20分から会議を再開いたしますので、それまでに席へお戻りください。

(2) 採択事業の審査について

—(非公開)—

4.その他

—省略—

5.閉会
—省略—

(以上)